

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 鬼怒川・小貝川上流域の減災に係る取組方針

【平成29年度の進捗状況】

平成30年5月30日

鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

平成27年9月 関東・東北豪雨

「平成27年9月関東・東北豪雨」による 鬼怒川下流域における被害の状況

「平成27年関東・東北豪雨」では、栃木県、茨城県に大雨特別警報※が発令され、日光市五十里（いかり）観測所では24時間雨量551mmを記録するなど、各観測所で観測史上最多の雨量を記録しました。この豪雨により鬼怒川では鬼怒川水海道において観測記録史上第一位の水位となり、堤防決壊、溢水による甚大な被害が発生しました。

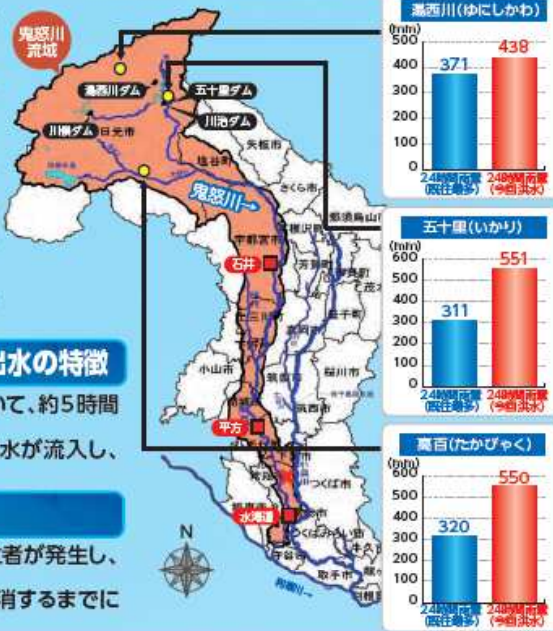
※大雨特別警報：台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合などに発令されます。

平成27年9月関東・東北豪雨における出水の特徴

- 鬼怒川では、鬼怒川水海道水位観測所において、約5時間にわたって計画高水位を上回る水位を継続。
- 八間堀川では、自己流に加え鬼怒川の氾濫水が流入し、計画高水位を上回る水位を継続。

被害状況

- 鬼怒川では、避難の遅れ等による多数の孤立者が発生し、約4,300人が救助されました。
- また、宅地及び公共施設等の浸水が概ね解消するまでに10日を要しました。



決壊箇所の応急対策

- 堤防決壊の当日(9月10日)から応急復旧に着手。24時間体制で施工し、1週間(9月16日)で仮堤防(盛土)を完成、2週間(9月24日)で応急復旧を完了。



街中の、救助の状況



関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿江市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策>・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策>・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

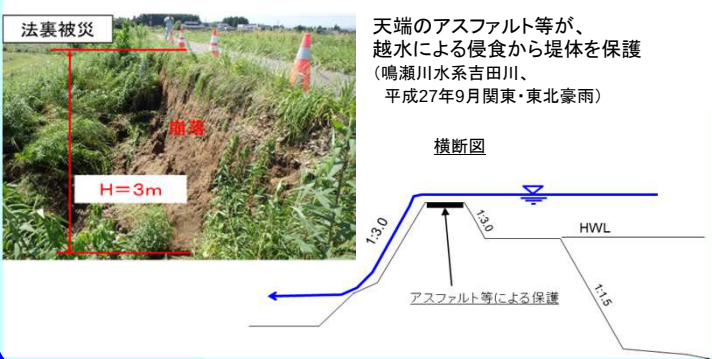
主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する
対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>

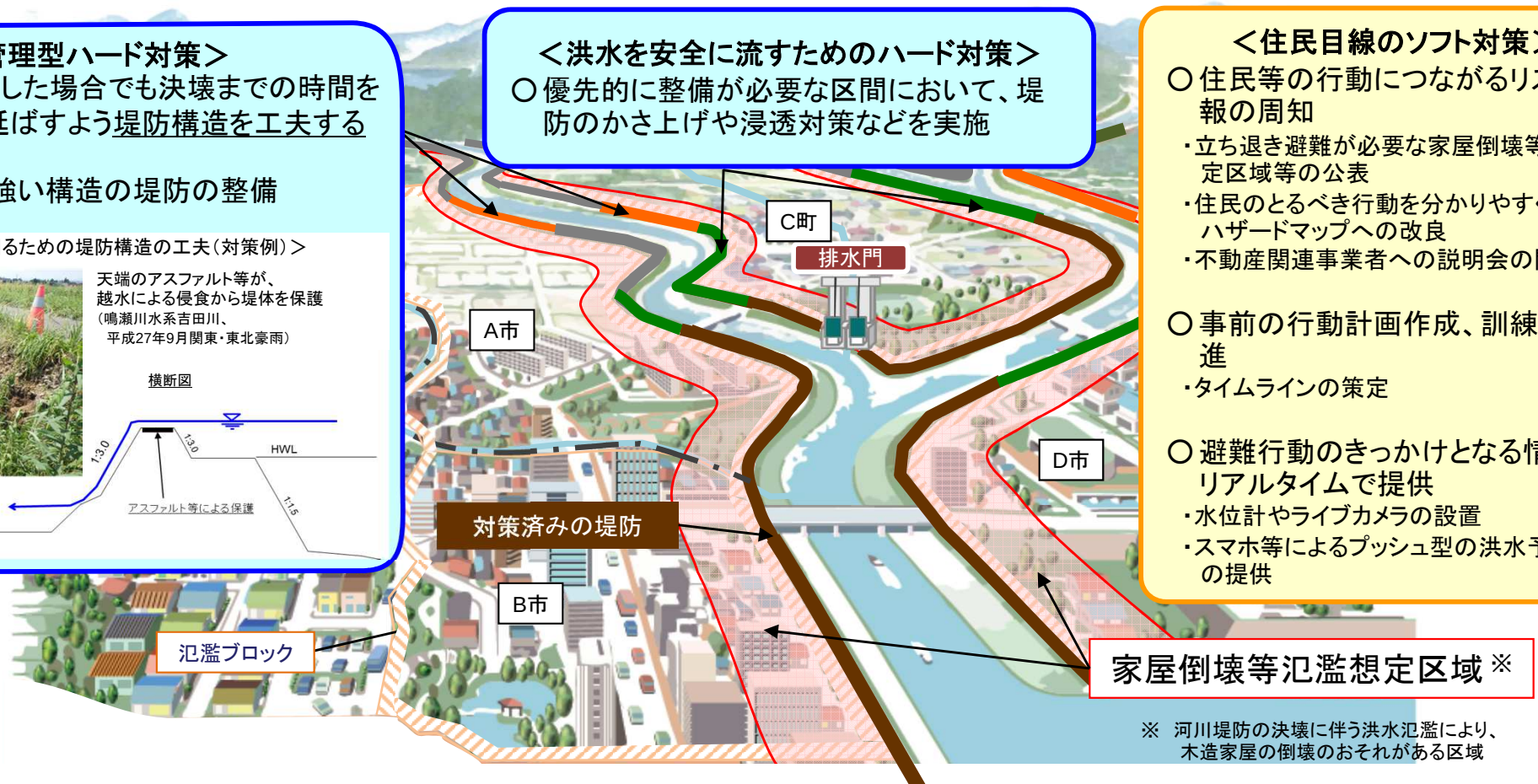


<洪水を安全に流すためのハード対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

■平成32年までの今後5年間で達成すべき目標

鬼怒川・小貝川の大規模水害に対し、
「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す

※大規模水害……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化……大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

上記目標達成に向け、鬼怒川や小貝川においてハード対策を順次実施することに加え、以下の項目を3本柱とした取組を実施する。

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための氾濫水の早期排水を促す既存施設の活用等の取組

概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

■ 洪水を河川内で安全に流す対策 ■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション（鬼怒川・小貝川）の公表
- ・広域避難計画の策定
- ・広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・地域の特性を踏まえた適切な避難方法（垂直避難等）や効果的なまるとまちごとハザードマップの検討・周知
- ・要配慮者利用施設の避難計画の検討・作成及び管理者への周知・啓発
- ・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・短時間判断等の上流域の特徴を考慮したタイムラインの更新及び実践的な訓練の検討
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

■ 防災教育や防災知識の普及

- ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・水防災に関する説明会の開催
- ・小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
- ・出前講座等を活用した講習会の実施
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

② 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・水防団等への連絡体制の再確認
- ・水防団同士の連絡体制の確保
- ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ・関係機関が連携した実働水防訓練の検討・実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築
- ・自主防災組織の促進及び支援等の検討

③ 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための氾濫水の早期排水を促す既存施設の活用等の取組

■ 既存施設の活用を含めた緊急排水計画（案）の作成及び既存施設の管理方法の検討

- ・排水機場・樋門・水門等の情報共有、霞堤の排水機能を踏まえた排水の検討等を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画（案）を作成
- ・霞堤の適切な管理のための機能・効果の啓発活動の検討・周知

ハード対策 ■洪水を河川内で安全に流す対策

鬼怒川緊急対策プロジェクト ハード対策の進捗状況 (H29年度末時点)

- 鬼怒川においては、平成27年度に着手した、宇都宮市桑島地区での低水護岸の整備が完了
(平成30年度は宇都宮市石井町地区で引き続き低水護岸の整備に着手予定)



ハード対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備(H29年度の主な事例)

防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

小山市

防災ラジオの無償貸与



さくら市

防災行政無線戸別受信機の無償貸与



芳賀町

防災行政無線の調整・整備



塩谷町、高根沢町

防災行政無線のテレホンサービス

自然と人の活動が響く
栃木県 塩谷町

観光情報 | 暮らしの情報 | 町の情報 | サイトマップ | トップページへ戻る

文字サイズ変更 | 標準 | 大 | 最大 | サイト内検索 | 検索

サイトの現在位置 | トップページ | 防災 | 防災行政無線のご案内

★ 更新日付 | 2018年3月12日 更新 | 印刷用ページを開く

読み上げる

防災行政無線のご案内

聞き逃した内容を聞くことも出来ます。

町では、平成26年4月1日より防災行政無線の運用を開始しました。火災や災害等の緊急時に広く皆さんに情報をお知らせするものですが、「放送がよく聞こえなかった」「家の中にいて聞き逃してしまった」等の場合は、下記の番号に電話していただくとその内容を聞くことができます。ぜひご利用ください。なお、通話料につきましては個人負担になりますことをご了承ください。

防災行政無線の放送内容確認電話番号

0287-45-2655

※電話が不通の際は、時間をおいてから再度おかけください。

高根沢町
Takanezawa Town

☎ テレホンガイド | 📞 お問い合わせ | 🗺️ サイトマップ
📍 施設・各課の案内 | 🗨️ 言語を選択

ホーム | 町の紹介 | 暮らしの情報 | 行政情報 | カレンダー

ホーム > 暮らしの情報 > 消防・防犯・交通安全 > 防災 > 防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線テレホンサービス

町では、町内57箇所に防災行政無線を設置し、災害時などに放送しています。しかし、放送した内容が聞き取れない、聞き漏らしてしまったと、お問い合わせをいただくことがあります。このようなことから、防災行政無線の放送内容を電話で確認できるサービスを開始しました。

防災行政無線フリーダイヤル

☎ 0120-43-9933

防災行政無線の放送内容が確認できます。通話は無料です。

防災・防犯・安全

- 防災
- 災害がおきたら
- 放射能情報
- 消防団
- 交通・防犯

ハード対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備(H29年度の主な事例)

水防活動を支援するための水防資機材等の配備（新技術活用も含め）及び適切な管理

宇都宮市

水陸両用バギーを配備



下野市

消防団(水防団)用装備品購入(ヘッドライト・シリコンバンド、レインスーツ等)



栃木県

袋型根固用袋材 51袋
根固めブロック 54個 等を配備し、管理



関東地整

土嚢製作器の訓練を実施



「減災対策協議会担当者会議」にあわせ、市町・県・国の水防担当者合同で訓練を実施。

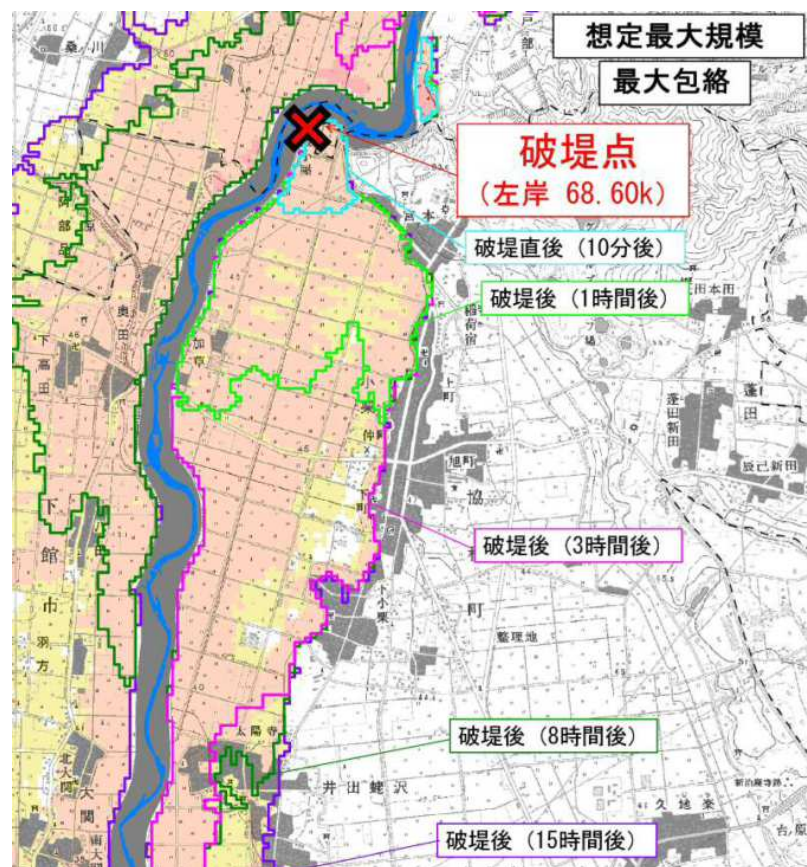
土嚢製作器を使った土嚢作成訓練と併せて、照明車・排水ポンプ車の操作も実施

『氾濫シミュレーション』の公表

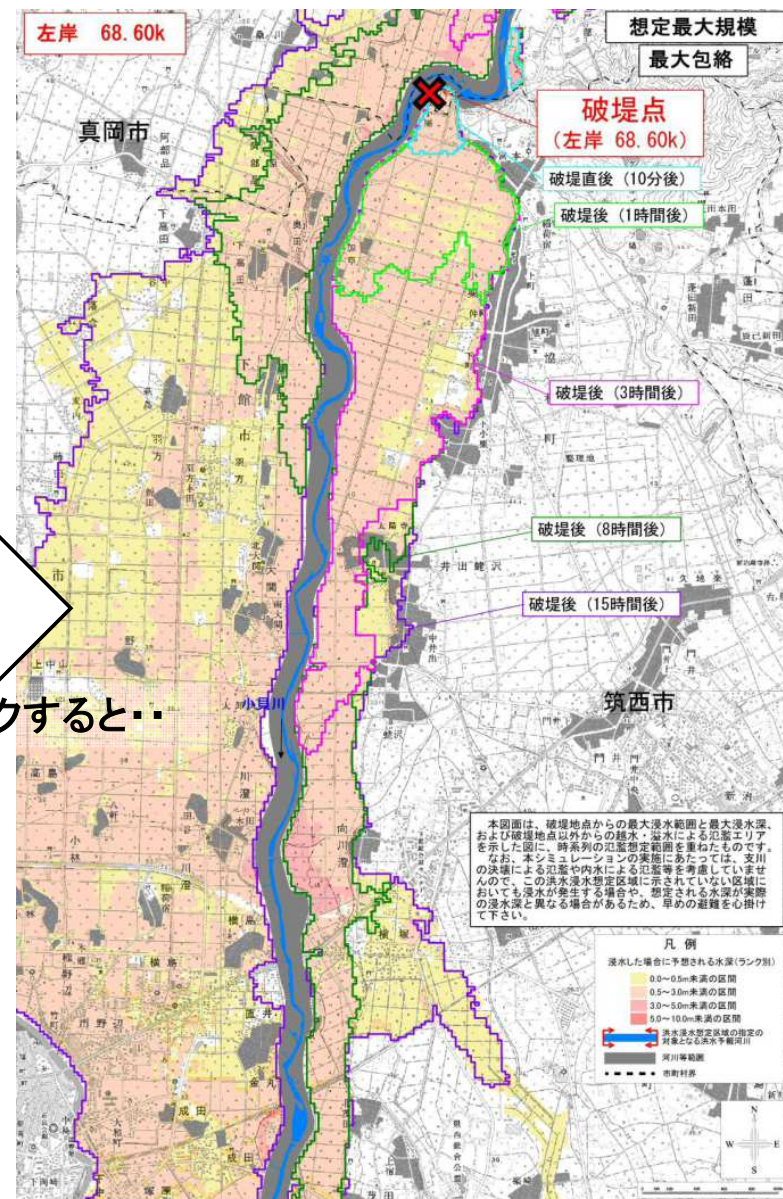
小貝川 氾濫シミュレーション(代表地点) 公表

左岸8点、右岸6点について、
氾濫シミュレーションを時系列に
示した図を公表しています。

(下館河川事務所HPより)



破堤点をクリックすると・・・



注) 越水・溢水の氾濫エリアも考慮して、表現をしている。
※ なお、「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)においても、全地点におけるシミュレーション結果を公表予定です。

広域避難と関連した取組

小山市

市外の避難場所を指定



栃木県

- ・田川の洪水浸水想定区域に関するデータを提供
- ・県管理河川の洪水浸水想定区域の改訂内容等について説明会を開催



要配慮者利用施設の避難計画の検討・作成及び管理者への周知・啓発

宇都宮市

施設管理者へ避難
確保計画作成の
義務化について周知



さくら市

避難準備情報の名称変更
を周知



施設管理者への周知例(HP)

タイムラインの充実を図るために、チェックシートを活用した確認作業の仕組みを構築

タイムラインチェックシート(案)

	主体	標準/推奨	NO	チェック項目	〇〇市(町)		
					H〇〇〇/〇月版		
					〇〇川		
					チェック欄	自治体 記入欄(H〇〇.〇〇.〇〇確認)	河川事務所 記入欄(H〇〇.〇〇.〇〇確認)
記載項目 チェック内容	気象・水象 情報	標準	①	監視すべき水位観測所名は網羅しているか (洪水予報が伝達される水位観測所を記載しているか)			
			②	水防団待機水位の水位は今年度(H29年度)の水位となっているか			
			③	氾濫注意水位の水位は今年度(H29年度)の水位となっているか			
			④	避難判断水位の水位は今年度(H29年度)の水位となっているか			
			⑤	氾濫危険水位の水位は今年度(H29年度)の水位となっているか			
	標準	⑥	⑥-1	避難判断水位			
			⑥-2				
			⑥-3				
			⑥-4				
		⑦	⑦-1	避難情報について			
			⑦-2				
			⑦-3				
			⑦-4				
			⑦-5				
			⑦-6				
			⑦-7				
			⑦-8				
			⑦-9				
	推奨		⑧	要配慮者利用施設への連絡について			
			⑨	リエゾンの要請について			
			⑩	ポンプ車等の災害対策機械の要請について			
			⑪	災害拠点病院への連絡はされているか			
			⑫	大規模事業者・地下街管理者への連絡はされているか			
			⑬	休園・休校の判断はあるか			
			⑭	水防資器材(土嚢等)の準備はあるか			
			⑮	住民からの情報収集はあるか			
	その他		⑯	協定業者(建設会社等)と連絡はあるか			
			⑰	その他特筆すべき事項			

※ 本チェックシートは、タイムラインを市町、河川事務所双方で確認することを目的として作成したものです。
タイムラインを修正、更新する際には、市町の計画等と整合を確認の上、ご判断ください。

【標準】: 避難勧告等の発令等につながる標準的な項目
【推奨】: より効果的な防災行動を行うために参考と考えられる項目

今後は、協議会として本チェックシートを活用し、タイムラインの更新、充実を図っていきたく考えております。
現時点で、チェックシートに対してご意見等ありましたらお知らせ下さい。

①市町は自身のタイムラインをチェックし記入

②下館河川事務所は河川管理者の立場から助言を記載し返送

③市町が助言事項を確認し必要に応じて見直し

④出水期前までに共有

実践的な訓練の実施

全市町

ホットライン訓練を実施

訓練の様子



下館河川事務所

ホットラインを受けて避難指示検討



さくら市



下野市



上三川町



高根沢町

水防災に関する説明会の開催

益子町

防災士による講演会を開催



気象庁

台風説明会を開催(平成29年は5回開催)



平成29年 台風第21号の栃木県への影響について

芳賀町

出前講座を開催



関東地整

出水期に係る対応等に関する連絡会を開催



小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート

小山市

教職員を含む「防災リーダー講習会」を年4回実施



栃木県

出水期に係る対応等に関する連絡会を開催

川に関するクイズ講座



着衣水泳・ライフジャケット体験



芳賀町

小学6年生へ防災に関する課外授業を実施



気象庁

気象台の見学を受け入れ、気象や防災に関して説明を実施

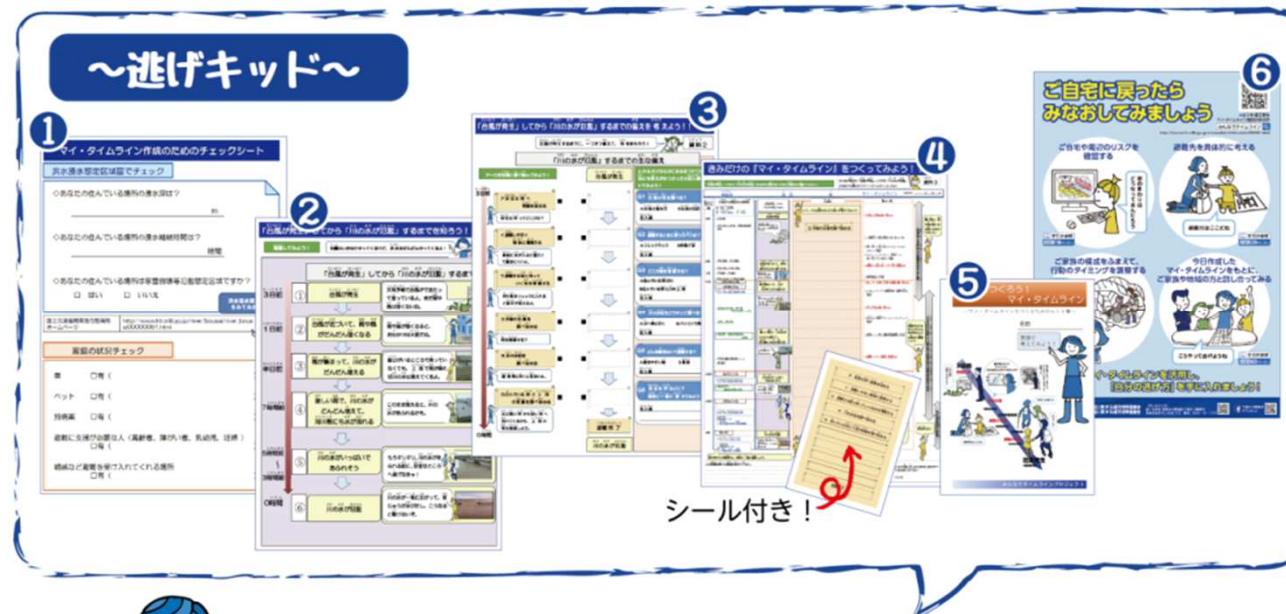


お天気フェア2017気象キャスター体験

小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート

協議会

小中学生向けマイ・タイムライン検討ツールの開発



- ① マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
- ② 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう!!(資料1)
- ③ 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう!!(資料2)
- ④ 『マイ・タイムライン』をつくってみよう!!(シール付き)
- ⑤ ご自宅に戻ったらみなおしてみよう
- ⑥ みんなでつくろう!マイ・タイムライン
～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～

逃げキッドを活用したマイ・タイムライン作成講座

出前講座等を活用した講習会の実施

気象庁

自主防災組織リーダー育成研修会



関東地整

昭和61年の小貝川水害と激特事業を振り返るシンポジウムを開催



マイ・タイムライン講座を実施



防災に関する説明会を実施



お天気キャスターとつくろうマイ・タイムライン
～自分の逃げ方を考えよう～

水防災意識強化週間

【概要】: 関係市町の庁舎等公共施設や民間の商業施設等、多くの人が集まる場所で水防災パネル展を実施。流域内のイベントとも連携し、多くの人が集まる機会を捉えて水防災パネル展を全41箇所ではほぼ同時に展開。また、台風期に備えてパンフレットを配布。

【実施期間】: 平成29年9月3日(日)～平成29年9月10日(日)



宇都宮市



矢板市



さくら市



下野市



益子町



芳賀町

コンビニで限定パンフレット配布



台風期に備えて緊急配布

ソフト対策

■洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための

水防活動の取組 (H29年度の主な事例)

市町職員、消防団、地域住民との共同点検を実施

昨年度に引き続き水防災の意識の共有・再確認を図るため、鬼怒川・小貝川に接する全19市町と連携し、現地にて「共同点検」を実施

○点検期間:平成28年6月17日(金)～7月8日(金)のうち15日間

○点検者:各市町職員、県土木事務所、気象台(水戸・宇都宮)、防災エキスパート、消防団、地域住民(主に自治区長)計414名

○点検範囲:堤防延長:約254km

○説明項目:重要水防箇所(重点・ランクA)、備蓄資材、基準水位、川の防災情報、市町の危険箇所、氾濫シミュレーション等

6月22日 上三川町



6月26日 塩谷町



7月7日 真岡市



ソフト対策 ■洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための 水防活動の取組（H29年度の主な事例）

関係機関が連携した実働水防訓練を実施

宇都宮市

宇都宮市水防訓練を実施



さくら市

さくら市総合防災訓練を実施



益子町

総合防災訓練を実施



水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進

真岡市

水防団(消防団)員募集を実施



あなたにも、できることがあります。
真岡市消防団員募集中！！

矢板市、上三川町

HPに水防団(消防団)募集案内を掲載



ソフト対策

■洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための
水防活動の取組（H29年度の主な事例）

自主防災組織への支援

宇都宮市

自主防災会連絡会議、自主防災会
役員・リーダー研修会を実施



小山市

自主防災会の設立拡大を
図るべく、地元説明会を開催



栃木県

自主防災組織リーダー育成研修会を実施



さくら市

自主防災組織活動支援補助金を拠出



補助金により自主防災組織が購入した資機材例

さくら市、関東地整

逃げキッドを活用したマイ・タイムラインの作成講座を実施



水防活動に関する講演会の開催

「洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組」の一環として、有識者や水防専門家による水防従事者に向けた講演会を実施。

実施日：平成30年2月15日

対象者：市町、県の水防に関わる職員、鬼怒川・小貝川の水防団

講演内容：宮村名誉教授による「鬼怒川・小貝川について知る」、清水教授による「水防活動の重要性、水防工法について」の講演を行い、その後、水防専門家である松永氏と下館河川事務所長も含めた鼎談を実施。



宮村名誉教授による講演



清水教授による講演



鼎談

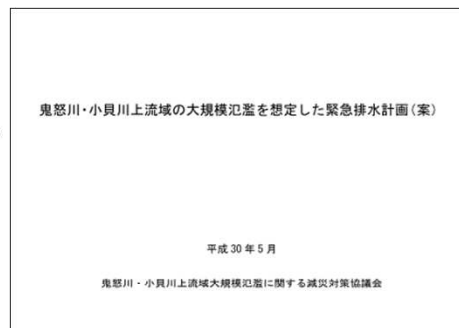
ソフト対策

■一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を
可能とするための排水活動の取組

(H29年度の主な事例)

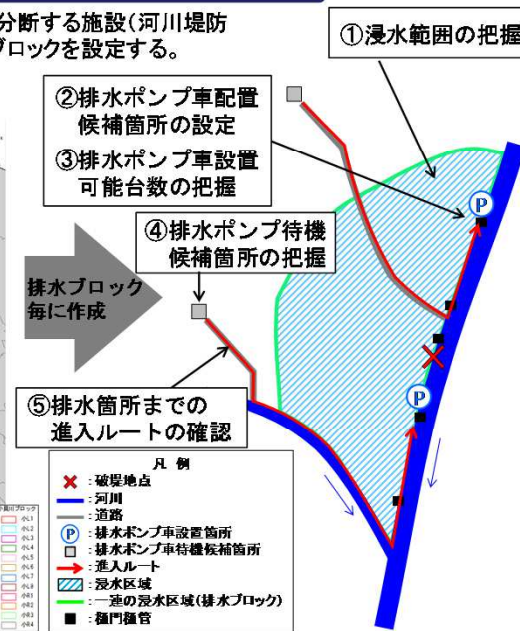
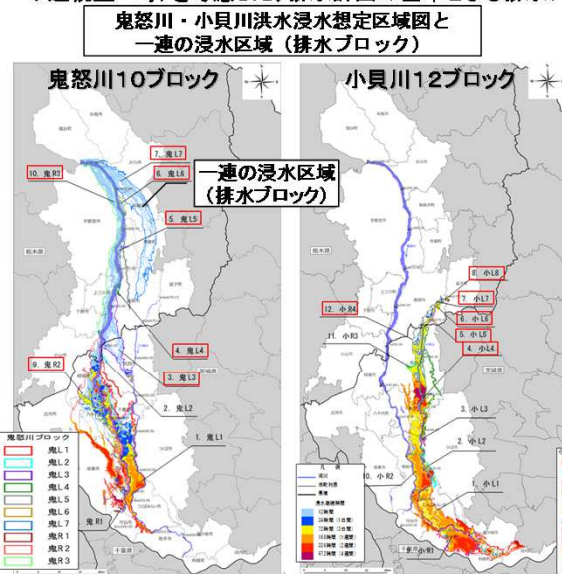
緊急排水計画（案）の作成

氾濫ブロック毎に、初動対応に重点を置いて、排水ポンプ車の待機箇所、配置箇所、進入ルートを設定した緊急排水計画（案）を作成



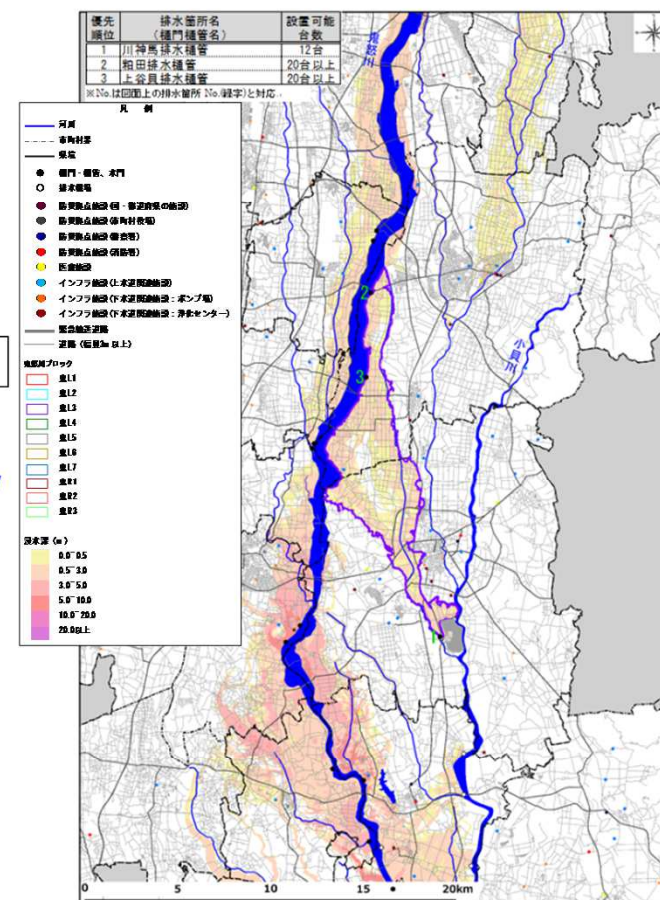
一連の浸水区域（排水ブロック）毎に「緊急排水計画（案）」を作成

想定最大規模の洪水浸水想定区域を対象とし、浸水を分断する施設（河川堤防や連続盛土等）を考慮した、排水計画の基本となる排水ブロックを設定する。

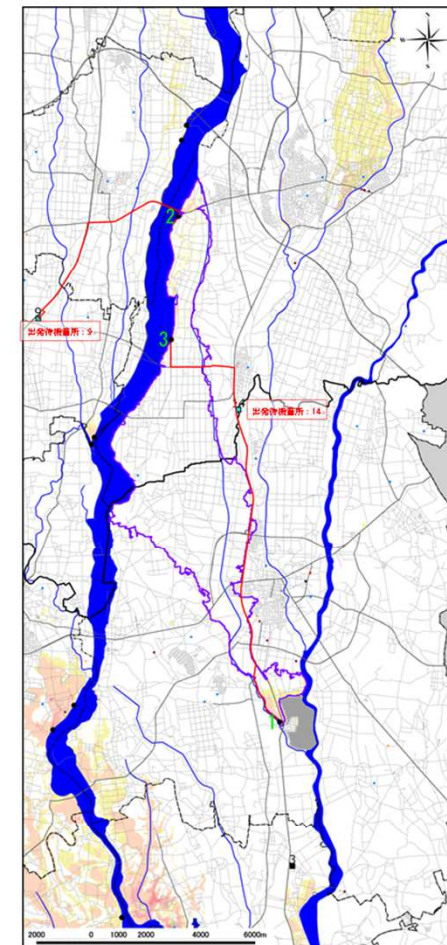


□: 上流域の排水ブロック ※流域内の全排水ブロックを表示している。

例: 鬼L3ブロック



排水ポンプ車配置箇所と設置可能台数
※浸水図は全破堤計算結果の包絡浸水図を示す。



排水箇所までの進入ルート
※浸水図は全破堤計算結果の破堤から1日後の包絡浸水図を示す。

ソフト対策

■一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を

可能とするための排水活動の取組 (H29年度の主な事例)

霞堤の適切な管理のための機能・効果の啓発活動の検討・周知

関東地整

下館河川事務所Facebook
にて霞堤の特徴を説明



「調べてみっぺよ！鬼怒・小貝」
～鬼怒川と小貝川の様々な歴史について、毎週水曜
日にお届けします～

あらためまして、明けましておめでとうございます。
新年最初の「調べてみっぺよ！鬼怒・小貝」は堤防
についてお伝えします。
でも、堤防と言ってもただの堤防ではありません。
皆さんは途切れている堤防をご存じでしょうか？

栃木県内の鬼怒川には、写真のように、堤防が途切
れているところがあります。
支川が流れ込む場所などで、下流側の堤防を川から
田畑の方へ延ばし、上流側の堤防と重なるようにし
ています。
この堤防が折れ重なっている様子が、霞がたなびく
ように見えることから、この堤防を「霞堤（かすみ
てい）」と呼んでいます。

霞堤は、鬼怒川上流部のような急流河川の治水対策
として、戦国時代から採用されてきました。平常時
には田畑からの排水を簡単にでき、洪水時には川か
ら氾濫した水を速やかに川へ戻して被害の拡大を防
ぎます。地形の特徴を上手く利用した先人の知恵が
感じられますね。

鬼怒川の栃木県内には、およそ45kmの間に22カ所
の霞堤があります。
興味がありましたら、一度現地に足をお運びになっ
てはいかがでしょうか？

今年も毎週水曜日に投稿予定です。興味を持ってい
ただけた方は、ぜひシェアをお願いします！
#調べてみっぺよ

宇都宮市(国道123号線付近)